

今回起こった論文の不備は、自身のデータ管理のみならず、共同研究者間でのサンプル共有・データ共有の在り方・確認方法を含め、筆頭著者である私の至らなさが招いた結果であると深く反省しております。理化学研究所の皆様、共著者の皆様はじめ、多くの方に多大なご迷惑をおかけしてしまったことを重ねてお詫び申し上げます。今後は STAP 現象・STAP 細胞の存在を実証するために最大限の努力をして参る所存です。

2014 年 7 月 4 日

小保方晴子